

生きる私が表すことは。

〜鹿児島ゆかりの現代作家展

2021年10月16日(土)〜24日(日) 火曜休館
長島美術館 鹿児島市武3-42-18



大人倫菜(美術作家)
インスタレーション



木浦奈津子(画家)
絵画



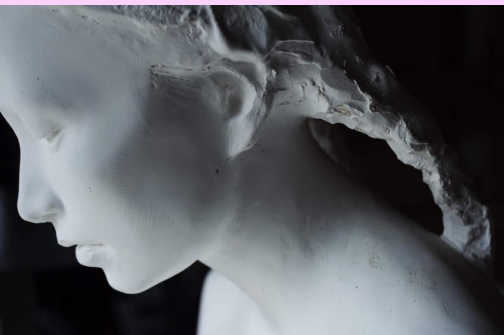
佐々木文美(快活)舞台美術家
レクチャーパフォーマンス



さめしまことえ(美術作家)
インスタレーション



田原迫華(彫刻家)
立体作品



平川渚(美術作家)
インスタレーション



鹿児島ゆかりのアーティスト6名から見る 今を生きるほのかな希望

有志によるかわるあいだの美術実行委員会は、2021年10月16日～24日の間、鹿児島市の長島美術館で地元ゆかりの作家6名による展覧会「生きる私が表すことは。～鹿児島ゆかりの現代作家展」を行います。期間中はオープニングイベントやワークショップ、公開制作を通して企画者や専門家、作家との交流の機会を創出し、現代美術に触れる機会も提供します。

見どころ：

- (1) **多様な表現**から現在を見る。本展では30代～40代の鹿児島出身または在住の作家6名を招聘し、絵画や立体作品、インスタレーションなど多様な表現を一堂に展示。
- (2) 作家が**作品制作する様子を観客に見せる**《公開制作》も行い、現代を生きる作家たちが社会や地域、または自身に何を感じ、表現しているのか、ご覧いただく機会も設けます。
- (3) 各地の美術館やフェスティバルに参加するといったいま活躍中の作家らによるレクチャーパフォーマンスやワークショップも。**作品を見ること、作ること、さまざまな視点から本展の楽しみ方を提示**します。

本展は、現代を生きるアーティスト6名が表現活動の域を超えて集結する現代美術のグループ展です。来場者との交流企画も充実した本展を、ぜひ貴媒体にてご紹介いただけますようお願い申し上げます。

世界はコロナを機に、これまでの生活様式や思考を変えざるをえませんでした。それに伴い、既存の社会的枠組みや価値観も大きく揺らいでいます。少し先の未来をも想像しづらい今、「生きる」という言葉はほのかな希望を胸に、意思を持って選択し続ける態度を含んでいるのかもしれない。

本展は鹿児島出身、在住の作家による絵画や立体作品、インスタレーションなどで構成される現代美術展です。参加作家たちは、唯一無二の表現を模索し、自ら表現する場を切り拓きながら、個々の経験や時代性を写した作品を真摯に制作し続けてきました。生きることがそのまま表現することでもある彼女たちが、私たちを取り巻く複雑な時代を鮮やかに切り取り、作品を通して投げかけます。あたり前とされてきた制度や仕組み、ジェンダー、鹿児島の地域性を見つめ直す機会を、彼女たちの姿勢や熱量とともに〈展覧会〉として提示します。

タイトルの「生きるわたしが表すことは。」は、作家たちの表現を、同時代を生きる私たち自身がどう受け取り、感じたことを表すかという意味も重ねています。時代の大きな転換期をむかえ、どのような世界をつくり生きていくのかを探る機会になればと思います。

キュレーション担当 原田真紀

※作家プロフィールは本資料の最後にございます。あわせてご覧ください。

※作家へのインタビュー、広報写真をご希望の際は、下記までお問い合わせください。

広報のお問い合わせ：サンカイ・プロダクション合同会社 contact@sankai-pro.com 担当：四元

展覧会概要

展覧会名 生きる私が表すことは。鹿児島ゆかりの現代作家展

(英語 We know more than just the names of flowers)

参加作家 大人倫菜 (美術作家)、木浦奈津子 (画家)、
佐々木文美 (快快/舞台美術家)、さめしまことえ (美術作家)、
田原迫華 (彫刻家)、平川渚 (美術作家)

会期 2021年10月16日(土) - 24日(日) 9:00-17:00 (予定) 8日間
※火曜休館

会場 長島美術館 鹿児島市武 3-42-18

観覧料 一般 500円・学生無料 (但し経済的事情により割引制度あり)

展覧会ウェブサイト <https://ikiruwatashi.jimdosite.com/>



展覧会メインビジュアル
大人倫菜「Her night dreams」2019年

【プレイベント】 8月22日(日) 15時-17時 (開場 14時半~)

タイトル: 対談〈コロナ以降のアートと地域〉~わたしたちの場所をつくる、みる。

ゲスト: 宮本初音氏 (福岡在住 アートコーディネーター/ART BASE 88 代表)

久保雄太氏 (鹿児島在住 株式会社 TSUZUKU 代表 / デザイナー)

司会・進行: さめしまことえ (美術作家)

定員: 35名

参加費: 一般 1,000円 学生無料 (事前予約制・先着順)

お申込方法: メール kawaruaida@gmail.com (名前、連絡先、一般/学生を明記)

【オープニングイベント】 10月16日(土) 14時~15時

参加作家によるトーク: 大人倫菜 (美術作家)、木浦奈津子 (画家)、佐々木文美 (快快/舞台美術家)

さめしまことえ (美術作家)、田原迫華 (彫刻家)、平川渚 (美術作家)

聞き手: 川浪千鶴氏 (インディペンデント・キュレーター)

会場 長島美術館別館 B1F ギャラリーC

参加費 一般 1,000円・学生無料

定員 30名 (要予約・先着順)

【レクチャーパフォーマンス】 ① 10/16 (土) 16時~ ② 10/17 (日) 15時~

佐々木文美〈部屋の観察〉

会場 長島美術館別館 B1F (展覧会場内)

参加無料 (要展覧会チケット)

定員 各8名 (要予約・先着順)

対象 中学生以上

【ワークショップ】 10/23 (土) ①13 時半～14 時半 ②15 時半～16 時半

木浦奈津子 〈ドローイング・シルクスクリーン〉
場所 展覧会場受付前 各 8 名 (要予約・先着順)
対象 小学生～一般 参加費 1 人千円 (材料費込み)

【公開制作】 開催日時は 後日、web でお知らせします。

① 田原迫 華 〈モデリング実演〉 粘土による造形
見学自由・無料 場所 展覧会場受付前

② 平川 渚
見学自由・要観覧料 場所 展示室内

* 申し込み方法

件名をイベント名とし、名前、連絡先を明記して kawaruaida@gmail.com へ I

【サテライト会場】

Gallery HINGE

鹿児島市加治屋町 1-7 山崎ビル 207 (第二柿本寺ビル)

会期 10 月 16・17 日、22～24 日 11:00-18:00 (予定) ※詳細は後日発表します

キュレーション 原田真紀 (インディペンデント・キュレーター)

助 成 鹿児島市文化芸術活動活性化補助金、ぶっとびファンド

広報協力 サンカイ・プロダクション合同会社

主 催 かわるあいだの美術実行委員会

本展に関するお客様からの お問い合わせ：かわるあいだの美術実行委員会 e-mail kawaruaida@gmail.com

公式 HP <https://ikiruwatashi.jimdosite.com>

・会場には授乳・おむつ替えスペースがあります ・最新情報は web をご確認ください

大人倫菜/Ohito Rina

1987年鹿児島生まれ、東京在住。2020年東京藝術大学大学院美術研究科油画専攻修士課程修了

2019年ロイヤルアカデミースクール/ロンドンへ交換留学プログラムを利用し短期留学。

現実と非現実の境界線を主なテーマとし、主に女性を主人公とした物語性のある作品を絵画やファウンドオブジェ、インスタレーションなど様々な媒体を通して制作を行なっている。2021年東京に共同アートスペース「銀河101」オープン。

<https://www.ohitorina.work/>

木浦奈津子/Kiura Natsuko

1985年鹿児島生まれ、鹿児島在住。2010年尾道大学大学院美術研究科絵画研究分野油画専攻修了。

日常の中で出会う身近な風景を描く。散歩やドライブの途中に気になる景色を写真におさめ、それを元にドローイングをし、絵画に起こしていく。

https://www.instagram.com/kiura_natsuko/

佐々木文美/Sasaki Ayami

1983年鹿児島県出身、東京在住を経て2019年より鹿児島に戻る。多摩美術大学映像演劇学科卒業。

卒業制作時にクラスメイトと演劇制作チーム快快（当時は小指値という名前）を旗揚げ。快快（FAIFAI）の活動に加えて、舞台美術担当として演劇、ダンス、コンサート、展示など様々な企画に参加。本展では演劇的要素を加えた身体感覚を揺さぶるレクチャーパフォーマンスを実施予定。

さめしまことえ/Sameshima Kotoe

1979年静岡県生まれ、鹿児島在住。旧姓名・浦田琴恵。

2003年多摩美術大学美術学部情報デザイン学科卒業。

桜島、横浜寿町、別府など各地のアートプロジェクトに参加する。閉館した温泉ホテルや、古い下宿アパートでの大規模なグループ展、九州のアートを訪ねる旅の企画など様々な活動を行う。2014年に鹿児島で編集者の夫と出版社「燦燦舎」を立ち上げる。共著に『桜島！まるごと絵本』『西郷どん！まるごと絵本』他。『鹿児島偉人カルタ 55』等ではイラストを手掛け、イベントやマルシェでは書籍の販売も行う。子ども向けアートワークショップ講師の経験多数。三児の母。

田原迫 華/Taharasako Hana

1979年指宿市生まれ、愛知県在住。

2002年鹿児島大学教育学部学校教育教員養成課程美術専修卒業、2010年崇城大学大学院芸術研究科博士課程芸術学専攻満期退学。現在、日展会友、白日会会員、鹿児島県美術協会会員。

個展、グループ展、ワークショップ開催のほか、音楽やダンスなど他分野とのコラボレーションやパフォーマンスも精力的に取り組んでいる。粘土で「ひとのかたちをつくる」ことにこだわり続け、思春期や若年期に揺れる女性の精神的・身体的うつろいを石膏像に留める。

平川 渚/Hirakawa Nagisa

1979年大分県生まれ、2013年より鹿児島県在住。

主に糸をかぎ針で編む手法で、そこにある見えないかたちを空間に立ち上がらせるインスタレーション作品などを各地で制作。ほか全国で展覧会やワークショップを開催。2021-22年に霧島アートの森主催でプロジェクトと個展を開催予定。

<https://www.nagisahirakawa.net/>